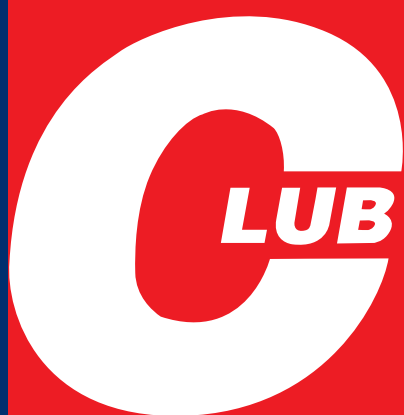


Y'S GEAR

WR250R/X / YJ-6 ZENITH-SAZ
NEW ITEM LINE UP

Vol.15



Y'S GEAR Vol.15

追悼・阿部典史

Unfinished.

何も終わってなんかいない。

SPECIAL GEAR & ACCESSORIES
Y'S GEAR



エンデューロから林道まで
高い次元で走破する。

THE PREMIUM OFF-ROAD SPORT WR250R OPTIONAL PARTS

圧倒的なパフォーマンスが秘められているエキサイトメントな「R」。アクセルワークと直結するようなダイレクト感、エンジンレスポンスと自在なハンドリングが紡ぎ出す、濃密な一体感。ザ・プレミアム・オフロードスポーツの名がふさわしい。「WR250R」が、ワイズギア・オプションパーツで更なる高みへと進化を遂げる。



ミニスクリーン
Q5K-YSK-057-R01
希望小売価格 ¥13,650(本体価格 ¥13,000)
ライトモックのメーターバイザー風ミニスクリーン、高さ240mm 幅260mm。
露湿状態、天候、スピードによりハンドリングに変化が感じられる場合があります。



リアキャリア
Q5K-YSK-057-E01
希望小売価格 ¥18,900(本体価格 ¥18,000)
鉄フレームにアルミ天板を装備。滑り止めゴム付き。最大積載量3kg。



テールパックL
Q5K-YSK-057-P02
希望小売価格 ¥9,450(本体価格 ¥9,000)
サイズ:W250mm×H250mm×D150mm

テールパックS
Q5K-YSK-057-P03
希望小売価格 ¥7,980(本体価格 ¥7,600)
サイズ:W200mm×H200mm×D120mm



GPハンドルガードセット
Q5K-YSK-003-X01
希望小売価格 ¥19,950(本体価格 ¥19,000)
LEDクリアウインカーとウインカーボディ、リレーのセット。延長や接続などの配線加工が必要で、取付け時のグレイブを要します。露湿状態、天候、スピードによりハンドリングに変化が感じられる場合があります。左右セット。



LEDクリアウインカーキット
Q5K-YSK-003-X01
希望小売価格 ¥19,950(本体価格 ¥19,000)
LEDクリアウインカーとウインカーボディ、リレーのセット。延長や接続などの配線加工が必要で、取付け時のグレイブを要します。露湿状態、天候、スピードによりハンドリングに変化が感じられる場合があります。



アルミアンダーガード
Q5K-YSK-057-E02
希望小売価格 ¥24,150(本体価格 ¥23,000)
ハードなオフロード走行に適したアルミ製アンダーガード。オイル交換の際には取り外ししてください。反響により、エンジン音が大きく聞こえる場合があります。

安全に関するご注意

商品をお使いいただく為、ご使用前に必ず取扱いの注意事項をご確認いただき、ご不明な点は販売店にお問合せ下さい。

ワイズギア

検索

※商品について詳しくはワイズギアホームページ
[http://www.ysgear.co.jp]にてご確認ください。

●商品に関するお問い合わせ 株式会社ワイズギア

0570-050814

オープン時間 月曜～金曜(祝日、弊社所定の休日を除く) 9:00～12:00 13:00～17:30
○一部の固定電話の場合、全国一律市内通話料にてご利用いただけます。



ヘルメットのおごひもはしっかり絞めましょう。
乗車時はグローブを装着しましょう。
快適で安全なバイクライフのために。



やめよう。
バイクの不正改造。
正しく乗るから、バイクは楽しい。

●メーカー希望小売価格には消費税が含まれています。●掲載価格には工賃、送料等は含まれていません。●商品の仕様及び価格等は予告なく変更される場合があります。●商品のカラーは印刷のため実物と異なって見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。●商品は予告なく販売を終了させていただく場合があります。●カスタムパーツ取付の場合、オートバイ本体のクレーン及びメーカーサービスを受けられない場合があります。●ヤマハ製電動統合システムの中でISO14001を認証取得しました。
〒432-8058 静岡県浜松市南区新橋町1103番地 FAX.053-443-2187 インターネットホームページ http://www.ysgear.co.jp/

SPECIAL GEAR & ACCESSORIES
Y'S GEAR

ISO9001 認証取得 ISO14001 認証取得

追悼・阿部典史

Unfinished.

何も終わってなんかいない。

2007年10月7日、交通事故に遭い32歳で急逝した阿部典史。日本の2輪レース界を牽引するレーシングライダーとして世界で、そして日本で活躍した彼は、いったい何を遺したのか。10年来の親交があったモータースポーツジャーナリスト・高橋剛がノリックを撮り続けたフォトグラファー・高島秀吉とともにワイズギアレーシングのスタッフを鈴鹿に訪ねた。

文 高橋 剛 Go Takahashi
写真 高島秀吉 Hideyoshi Takashima

笑っていいよう。どんなことがあっても顔を上げて笑い飛ばせるだけの強さを持っていいよ。カッコつけたがり屋だった彼の前で、涙なんて似つかわしくない。そう思っていた。

でも、1人していると、ふとした弾みで涙が止まらなくなる。哀しいのではない。悔しかった。大きな可能性を持った人を失ったことを思うと、悔しくてならなかった。

彼の亡骸が横たわる実家でも、そして葬儀でも、その悔しさを抑えることができた。そこは彼が本来いるべき場所ではない。だが、全日本最終戦の決勝を翌日に控えた10月20日、阿部典史——ノリックのいない鈴鹿サーキットで時を過ごすうちに、どんどん気が滅入ってきた。ここは彼がいなくてはならない場所だ。

いつしか下を向いてパドックを歩いている自分に気が付いた。妙に心細く、真昼間で人がたくさんいるサーキットなのに、1人の夜を過ごしているような薄ら寒い感覚に襲われた。

2ヒートが行われる全日本ロードレース最終戦の前にして、彼は「ダブルウィン狙いですよ。チャンピオン獲りに行きますから！」と本気だった。同じような熱さで、世界選手権への復活にかける意気込みも語った。「全日本チャンピオンになれなきゃ、世界への道もないですからね」。その言葉に、93年に全日本500ccクラス王者になった彼の姿が重なった。14年経っても、彼の熱量はまったく変化していなかった。「こうでなければダメだ」という決めつけが、とにかく多かった。彼が世界選手権を戦っていた頃、ヨーロッパ生活の拠点にしていたスペイン・シーチヤスの街を訪れると、必ずお決まりのレストランに誘われ、お決まりのメニューを

勧められた。イカスミのパエリアとホテルイカの唐揚げだ。「他のを食べてみたいんだけど」と言ったところで手遅れだ。とっくに彼が注文を済ませてしまっている。

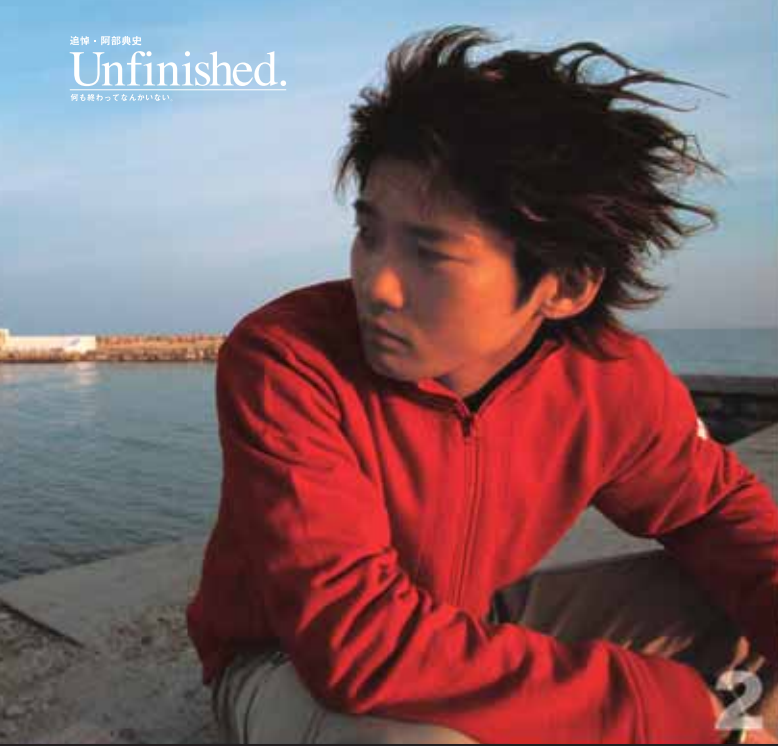
1度、そのレストランが休みだったことがある。しぶしぶ別の店に行き、「やっぱりあの店の方がうまいよなあ」と悔しがった。「こっちは十分おいしいよ」と言ってみても、「いやいや、絶対にあの店の方がうまいですよ」と譲らなかった。「分かったよもう」と僕は笑った。彼の決めつけはストレートで裏がなく、それに乗せられるのは愉快なことだった。

思い出されるのは、そんな楽しいエピソードばかりだった。暗い要素は何ひとつなかった。彼と過ごしたすべての瞬間が、春の光に満ちたシーチヤスの浜辺に打ち寄せるさざ波のように、柔らかく、まばゆかった。

死者だからと美化しているわけではない。冷静に思い返しても、嫌な思いをさせられたことがないのだ。例えば、彼には「うるさいなあ」と思われることがしばしばあった。細かいことにもずけずけと口を出し、自分が正しいと言いつ張る。でも、その姿にかわいげがあるのだ。たまに「そっか」。確かにそうですね」と少し口を尖らせて自分の過ちを認める時などは、思わず「だろ？」と頭をグリグリしたくなるほどだった。もちろん、彼への敬意を忘れることはなかったし、それ以前に、自慢のセットで決めた彼の髪に触れることはできなかったのだが。そんなことを思い出しても、1人ではちっとも笑えなかった。僕は自分の足元ばかりを見て、鈴鹿サーキットを歩き続けた。居場所が、よりどころがなかった。



ノリックが最後に乗ったマシン、YZF-R1の後ろで、チームシャツを着ているのがワイズギアレーシングのスタッフ。左から大矢直幸さん、小澤秀之さん、潮見眞輝オーナー（ワイズギア代表取締役社長）、伊藤巧代表、大川和哉さん、東隆史さん。07年全日本最終戦・鈴鹿。献花台の前には、多くのファンが集まった。姿がなくても、ノリックが感じられる空間だった。



1. 1996年、自由が丘で初めてノリックを撮った。この時、彼はまだ21歳の若さだったが、その存在感に圧倒され、ひたすらシャッターを切り続けた。
2. 2002年、スペイン・シーチャス。彼が気に入っている場所だった。海、街、彼のアパート。あらゆる場所で、彼のすべてを撮りたかった。
3. チームクルー、メディア、そしてファン…。誰に対してもバリアがないから、撮影はどこでも同じようにやりやすかった。2004年、ヘレスにて。
4. 再びシーチャスを訪れた2005年。撮る側も撮られる側も力が抜けた。ノリック以外の事象を写し込むことに抵抗がなくなり、表現の幅が広がった。
5. 2006年、シルバーストーン。norickabe.com用に撮影。実はこの時、チームクルーに冷やかされているのだが、自分のスタイルを貫き通した。

CAPTION by Hideyoshi Takashima

Norick Profile

阿部典史（あべ・のりふみ）。1975年9月7日生まれ。
93年、18歳で史上最年少の全日本500ccクラス王者に。
94年から世界GPに参戦。
以後、04年までGPライダーとして活躍し、3勝を含め計17回表彰台に立った。
05～06年のスーパーバイク世界選手権を経て、
07年はワイズギアレーシングから全日本に復帰。
事故に遭う直前の岡山大会までのランキングは3位だった。



翌10月21日、鈴鹿サーキットのヤマハハブリースで、僕はワイズギアレーシングのスタッフとノリックの思い出話をしていた。白いテーブルが秋の日差しを強く照り返し、5人は少し暑そうにしている。

これは取材だ。インタビューは聞き役に徹すべきだと、普段の僕なら考える。でもこの時は、僕も彼らと同じように、自分の思い出を披露した。全員が同じ気分を共有していた。

伊藤巧さんはワイズギアレーシングの代表だ。今シーズン始め、全日本JSB1000を走ることにしたノリックをチームに迎え入れるにあたり、「実は、まったくピンと来なかったんですよ」と笑った。「彼が全日本500ccクラスを走っていた時、少し会話はしたんですが、とにかくそのライディングに『とんでもないヤツだな』って思っていました。その後はテレビで観るぐらいだね。世界GPで17回も表彰台に立ったようなライダーを走らせることになるなんて、ホンマにピンと来ませんでした」

チームメカニックの小澤秀之さんは「オレなんかでいいんですかって感じだった」と率直だ。「メカニックとしての経験も、有力チームの人たちに比べたら全然足りませんでしたから。でも、やってみなかった。成長できるんじゃないかなって」。これはスタッフの総意だった。

だが、13年にわたって世界を舞台に戦ってきたノリックの要求レベルは高く、彼を満足させるのは容易ではなかった。4月の開幕戦もてぎ、第2戦鈴鹿、そして第3戦で3位表彰台に立った筑波でさえ、まだチームはぎくしゃくしていた。「我々は日本でしかレースをしたことがないから、ギャップがあって当たり前なんだ

ですよ」と伊藤さん。「ある程度は阿部に我慢してもらわしかなかった」

どうにかまとまってきたのは、鈴鹿300km、そしてノリックにとつては最初で最後の参戦となった鈴鹿8耐、2つの耐久レースを経験してからだった。長い時間をともに過ごし、コミュニケーションを密に取ることで、チームスタッフとノリックの距離が近付いた。

ヘルバーの東隆史さんは、「リズムがつかめてきたんです」と言う。「ピットに入ってから出ていくまでの間、彼が何をしたいのか分かってきた。ヘルメットを置く場所、耳栓の位置、すべて彼の好きなようにできるようにした」

思わず僕は聞いてみる。「1度これって決めたら、後はずっと同じなんじゃない？」

「そう！ そうなんです。そういう意味では、あれほど分かりやすい人もいない」と東さんは笑った。「ただ、リズムを崩されるのは本当にイヤみたいだから、気は使いましたけどね」

メカニックの小澤さんは、ハンドルバーの角度でノリックと「戦って」いた。左右で角度がほんの少しでも違っていると、鋭く指摘されるのだ。「はっきり言って許容範囲のはずなんです」と笑う小澤さん。規定トルクでボルトを締めても、ごくわずかな力加減でハンドル角に微妙な差が出る。そこをノリックは見逃さなかった。「実際測るとほんのちよつとだけ違って、悔しいんですよ。もう意地ですよね。お互いムキになってました。最後の数戦でようやく何も言われなくなつて、『よし、勝った！』って」

スペアマシンの担当メカニック、大川和哉さんは、「葬儀会場で、ノリックが過去に乗ったGPマシンと並んで、自分たちのR1が飾られ

ていることがうれしかったし、誇りを感じました。最後はポジションに文句言わせんと乗ってもらえるマシンになってましたしね」

ノリックの勝負へのこだわりは、いろいろな人を相手に、いろいろな場面で、分け隔てなく発揮された。それはレースに関してもまったく同じだった。世界GPでも全日本でも、ノリックの戦い方に変わりはなかった。全力を尽くす言葉にするのは簡単だが、彼は本当に全力だった。ハンドル角度も世界グランプリも全日本も、「勝負」という点で彼にとつて同列だった。

伊藤さんが言った。「長くレースをやっているライダーほど、『まあこんなもんか』と手を抜く時がある。でも彼にそれはなかった。スタートのやり直しが続いた筑波で、3回ともトップで1コーナーに飛び込んで行ったノリックの姿が思い浮かんだ。

ワイズギアレーシングのスタッフが、ノリックと過ごした時間は、わずか9ヶ月足らず。彼らに大きな影響を及ぼし、足早に去って行った。タイヤや燃料を担当していた大矢直幸さんは、「レースが、そしてバイクが今まで以上に好きになった」と言う。「人生観が変わりましたね。父親がバイク関連の仕事をしているんですが、後を継いでいきたいと思っています」

ヘルバーの東さんは、「夢みたいでした。彼と一緒に仕事をしていると、怖い者なしで何でもできるようなハイな気分になった」と振り返る。「今は、『彼がおつたらどう言うやろな』『喜んでくれるかな』と、物事を判断するうえでのモノサシになってくれています」と言った。

スペアマシン担当の大川さんは、「あれほどライダーと一緒に仕事できて、これから同

じテンションが保てるかが分からない。でも…、ホンマに誇りですわ」と微笑んだ。

メカニックの小澤さんは、「単純に言ったら、面白かったですね」と笑った。「やっぱり相手はスーパースターだから、いろいろと大変だった。でも、それも含めてとにかく楽しかった。これからはノリックのスタイルを、そして彼に高めてもらったメカニックとしての意識を、後輩たちに伝えていきたいですね」

そしてチーム代表の伊藤さんは、「ええ舞台を作ってくれたと思ったら、自分だけサツといなくなつてしまった。カッコええんやけど、我々にしてみたら『どないしたらええんや』って状態ですよ。…でもね、阿部が遺っていた課題をひとつひとつクリアしていきながら、チームとしては来年へ、そして再来年へとつなげていきたいんですわ。テレビやマンガで、最後に出るでしょうか？ 『つづく』って。今はああいう感じですよ。この話はいつ完了するのか分からない。たぶん、ずっと続くでしょうね」

ノリックとともに戦った5人と語り合った時間は、ひたすら明るかった。思い出話は尽きることがなく、たびたび爆笑さえ沸き起こった。誰もが若くして逝った彼のことを深く思っている。しかし不思議なことに、故人を悼むしんみりとした空気はなかった。

彼が遺していったのは、熱なのだ。その途方もない熱量が、湿り気を帯びてもおかしくない雰囲気さえも、からりと乾かしている。そして彼を知るすべての人々の中に蓄えられたその熱こそが、未来へと歩みを進める力になっていく。鈴鹿サーキットに、すがすがしい秋風が吹いた。まだ、何ひとつ終わっていない。

WR250RIX

OPTIONAL PARTS WR250R/X Special Edition

ついに登場! 最高のパフォーマンスを極めたマシンWR250R/X。
ワイズギア オプションパーツでスタイリッシュにサポート



の強靱なアルミアンダーガード、運動性能をスポイルしない、スタイリッシュなリアキャリア、見る者の目を釘付けにする美しいアルミガード類の数々。実用性のみならず観賞にすら耐えられるクオリティだ。加えてスポーティーなオフロード走行にびったりなテールバッグ、ちょっとした林道ツーリングにジャストフィットなサイドバッグもワイズギアからの新しい提案である。これらは「WR250」のネーム入り専用用品で、オーナーの所有欲を満足させてくれるものとなっている。

二つ目は本物を追求した、プレミアム感満点のアイテム。まず、新開発「プレスカーボン」製のガード類。強靱で軽量、高価なカーボン素材をふんだんに使用し、美しくもリーズナブルな価格を実現した。それに「ハンドルホルダーセット」「クイックファスナーセット」「チタ

ンステップ」はモトクロッサーで採用されているレシーブなアイテム。特に「チタンステップセット」は本物を追求するあまり、良い意味でやりすぎた、とオプション開発者が漏らすパーツ。こだわりぬいたがために、いささか高額になってしまったのはどうぞご容赦を...

そして最後はカスタム感溢れるオプションパーツ。WR250の秘めた戦闘力を見えるカタチで析出させたかのような「アルミディスクガード」。特にWR250Xのイメージにピッタリなこのパーツは刃物をモチーフにデザインされている。まさに刀を叩き割る、ワイズギアの放つ「斧」なのである。オプション開発者が惚れ込み、自分の欲しいアイテムをつくりこんだWR250R/X。そんなこだわりをぜひご自分の目で、カラダで感じて取っていただきたい。



商品開発部 商品開発課 商品開発部 商品開発課
榎井 光昭 濱松 徹

開発者が語る、「WR250R/X」
オプションパーツ、魅力の数々。

ヤマハが満を持して市場投入する「ザ・プレミアムオフロード&ストリートスポーツ」WR250R/X。オン・オフカテゴリーの「R」を開発コンセプトとし、他車を圧倒する比類なき運動性能を發揮させつつ環境性能をも両立させた新世代マシンと呼ぶのにふさわしいオン・オフスポーツだ。

ワイズギアはそんなWR250R/Xにふさわしく、従来からのアイテム類に「プラスαした価値観」を持つオプションパーツ類を開発した。まず、二つ目は定番とも言えるオフロードアイテムへのこだわり。オフロード走行に必須

WR250RIX Y/S GEAR OPTIONAL PARTS

 <p>カーボンマフラーカバー Q5K-YSK-057-E17 (D5) (取付0.1h) 希望小売価格 ¥22,050 (本体価格 ¥21,000)</p> <p>軽くて美しいカーボン製品。スタンダードのカバーの上に貼付けるタイプです。表面の樹脂部分に小傷が入る場合があります。微粒コンパウンドでのお手入れが必要です。</p>	 <p>カーボンライセンスホルダー Q5K-YSK-057-E19 (D5) (取付0.5h) 希望小売価格 ¥29,400 (本体価格 ¥28,000)</p> <p>ライセンスランプ、リフレクター付き。表面の樹脂部分に小傷が入る場合があります。微粒コンパウンドでのお手入れが必要です。</p>	 <p>カーボンフロントフォークカバー Q5K-YSK-057-E16 R用 (D5) (取付0.3h) Q5K-YSK-057-E24 X用 (D5) (取付0.3h) 希望小売価格 各 ¥29,400 (本体価格 ¥28,000)</p> <p>軽くて美しいカーボン製品。YAMAHAグラフィック、左右セット。表面の樹脂部分に小傷が入る場合があります。微粒コンパウンドでのお手入れが必要です。</p>	 <p>サイドバッグ Q5K-YSK-057-P01 (D3) (取付0.2h) 希望小売価格 ¥19,950 (本体価格 ¥19,000)</p> <p>左側のみのソフトケース。巻き込み防止ステッパー、防水カバー付き。</p>	 <p>アルミクラッチショートレバー Q5K-YSK-057-K01 (D3) (取付0.1h) アルミブレーキショートレバー Q5K-YSK-057-K02 (D3) (取付0.1h) 希望小売価格 各 ¥6,825 (本体価格 ¥6,500)</p> <p>アルミ切削加工。ハンドリングとレバー操作を同時に行うハードな走行にお勧めです。※レースによっては、レギュレーションにより使用できない場合があります。</p>	 <p>SUSブレーキホース Q5K-YSK-057-N01-X用 (D3) (取付0.3h) Q5K-YSK-057-N02-R用 (D3) (取付0.3h) 希望小売価格 各 ¥12,600 (本体価格 ¥12,000)</p> <p>ステンレスメッシュのブレーキホース。</p>	 <p>カーボンアンダーカバー Q5K-YSK-057-E12 (D5) (取付0.2h) 希望小売価格 ¥29,400 (本体価格 ¥28,000)</p> <p>軽くて美しいカーボン製品。左右とセンターの3点セット。強い衝撃により破損する場合があります。ダートでのハードな走行にはアルミ製アンダーガードをお勧めします。</p>	 <p>アルミフロントディスクガードR Q5K-YSK-057-E03 ブルー (D3) (取付0.2h) Q5K-YSK-057-E04 ゴールド (D3) (取付0.2h) アルミフロントディスクガードX Q5K-YSK-057-E20 ブルー (D3) (取付0.2h) Q5K-YSK-057-E21 ゴールド (D3) (取付0.2h) 希望小売価格 各 ¥9,870 (本体価格 ¥9,400)</p>	 <p>アルミフロントキャリアガードR Q5K-YSK-057-E07 ブルー (D3) (取付0.2h) Q5K-YSK-057-E08 ゴールド (D3) (取付0.2h) アルミフロントキャリアガードX Q5K-YSK-057-E25 ブルー (D3) (取付0.2h) Q5K-YSK-057-E26 ゴールド (D3) (取付0.2h) 希望小売価格 各 ¥6,300 (本体価格 ¥6,000)</p>	 <p>アルミアリアディスクガード Q5K-YSK-057-E05 ブルー (D3) (取付0.2h) Q5K-YSK-057-E06 ゴールド (D3) (取付0.2h) 希望小売価格 各 ¥6,930 (本体価格 ¥6,600)</p> <p>ディスク板の石打などをガードします。美しいアルミ仕上げ。</p>
 <p>ブラッシュガード 2LN-W0744-11 ブラック (D3) (取付0.3h) 2LN-W0744-30 ホワイト (D3) (取付0.3h) 希望小売価格 各 ¥2,100 (本体価格 ¥2,000)</p> <p>左右セット。路面状況、天候、スピードによりハンドリングに変化が感じられる場合があります。</p>	 <p>カーボンフロントディスクカバー Q5K-YSK-057-E13 R用 (D5) (取付0.2h) 希望小売価格 ¥19,950 (本体価格 ¥19,000)</p> <p>軽くて美しいカーボン製品。泥などがディスク板に付着するのをカバーします。強い衝撃により破損する場合があります。ダートでのハードな走行にはアルミ製ディスクガードをお勧めします。</p>	 <p>ハンドルガードセット Q5K-YSK-038-E04 クリア (D3) (取付0.6h) 希望小売価格 ¥15,750 (本体価格 ¥15,000)</p> <p>アルミフレームと樹脂カバー(スモーク)のセット。傾斜形状のスペシャルワッシャーにより上下取付角度が自由に設定できます。路面状況、天候、スピードによりハンドリングに変化が感じられる場合があります。左右セット。</p>	 <p>レバーガード Q5K-YSK-049-E02 (D3) (取付0.6h) 希望小売価格 ¥11,550 (本体価格 ¥11,000)</p> <p>アルミ製レバーガード。左右セット。</p>	 <p>クイックファスナーセット Q5K-YSK-057-T01 (D3) (取付0.1h) 希望小売価格 ¥2,100 (本体価格 ¥2,000)</p> <p>右サイドカバーとエアクリナーを素早く取り外しできます。</p>	 <p>φ28.6ハンドルホルダーセット Q5K-YSK-057-K03 (D3) (取付0.3h) 希望小売価格 ¥4,830 (本体価格 ¥4,600)</p> <p>YZなどで使用しているテーパーハンドル用のホルダーです。左右セット。ハンドルは別売りです。</p>	 <p>チタンステップセット Q5K-YSK-057-J01 (D3) (取付0.3h) 希望小売価格 ¥23,100 (本体価格 ¥22,000)</p> <p>YZなどで使用しているチタン製のステップをWR250に合わせて加工しました。左右セット。</p>	 <p>アルミアリアキャリアガード Q5K-YSK-057-E09 ブルー (D3) (取付0.2h) Q5K-YSK-057-E10 ゴールド (D3) (取付0.2h) 希望小売価格 各 ¥6,300 (本体価格 ¥6,000)</p> <p>プレーキキャリアをガードします。美しいアルミ仕上げ。</p>	 <p>アルミチェーンガード Q5K-YSK-057-E22 ブルー (D3) (取付0.2h) Q5K-YSK-057-E23 ゴールド (D3) (取付0.2h) 希望小売価格 各 ¥3,990 (本体価格 ¥3,800)</p> <p>美しいアルミ仕上げ。形状はスタンダードと同じです。</p>	 <p>アルミフレームガード Q5K-YSK-057-E11 (D3) (取付0.3h) 希望小売価格 ¥12,600 (本体価格 ¥12,000)</p> <p>アルミプレス製。パーツによるフレームへの傷付きを防ぎます。左右セット。</p>

先進の人間工学により設計で、さらにスタイリッシュに、もっと心地よく。
快適性とデザイン性の両立させた、NEW<Lea Winds>誕生。

主要装備 Equipment

ベンチレーション 新設計の大型ベンチレーションはフェイスと同じ本体タイプを設定。吸気性・通気性を向上させました。

シールド 新設計のインジェクションシールドだから丈夫で傷にも強い。もちろんUVカット&ハードコート仕様で日焼け防止します。

トリム 走行時の気になる風切り音を軽減するとともに、雨の侵入も防止。より快適なライディングを実現します。

リフレクター 夜間走行の安全性に配慮し、リヤ4カ所にリフレクターを装備。視認性に優れた反射光が周囲の注意を促します。

フォーム 下部のエッジに丸みを持たせることにより、重心を低く抑えることで、よりシャープでコンパクトなスタイリッシュフォームを実現。

ヘルメット
HELMET

コンパクトでありながら深く快適なかぶり心地を実現した、その名も「ネオ・エルゴノミクスフォーム」。新色も発売で、楽しみがさらに大きく広がります。

New SF-5 Lea Winds



SF-5 Lea Winds
メーカー希望小売価格 ¥8,820(本体価格 ¥8,400)

規格: JIS2000 125cm以下用

- 究極のエルゴノミクスフォーム(深いかぶり心地の帽体)
- リフレクター装備(リヤ4カ所)
- 大型ベンチレーション
- 洗える内装(フル脱着内装)
- ワンタッチシールド交換システム
- UVカット、ハードコートシールド
- ワンタッチパッケル

90791-31	カラー	サイズ	S	XL	F
NEW	マットブラック		96X	96F	
NEW	チタン		97X	97F	
NEW	プラチナシルバー		98X	98F	
	ホワイト	70W	70X	70F	
	キャンディレッド	71W	71X	71F	
	ブラック	72W	72X	72F	
	ダークブルー	73W	73X	73F	
	ライトシルバー	74W	74X	74F	
	ダークシルバー	75W	75X	75F	

※商品番号の■部分にサイズを入れて注文してください。



new generation system **SAZ** model YJ-6
YJ-6 ZENITH-SAZ

(System)という新たな魅力を身につけてリニューアルを遂げた「YJ-6 ZENITH」。片手で開閉できるマウスガードをはじめとしたヤマハ独自の最新機構。ジェットでも、システムでも。新世代の(System)の快適性を体感してほしい。



YJ-6ゼニス-SAZ ¥23,100(本体価格 ¥22,000)

- size:S,M,L, XL 規格: JIS 2000
color:パールホワイト 2170/パールブラック 2171
モルディブルー 2172/プラチナシルバー 2173/チタン 2174
- 2Way System(夏はジェットに変身)
 - マウスガードオープン(セーフティロック付)
 - 低重心設計
 - ワンタッチ着脱式シールド交換システム
 - リフレクター装備(フロント2カ所)
 - デュアルベンチレーションシステム(DV.S)
 - 洗える内装(ワンタッチボタン式フル着脱内装)

さらに進化したシステムの本流

Mouth Gard

マウスガード

メガネをかけたままでも着脱できるマウスガード開閉機構。ヘルメットをかけた状態で飲食もOK! 片手で開閉できる新機構(セーフティロック付)。

Safety

安全性への配慮

ライダーの安全性を高めるために、あえて重量というヘルメットのタブーを覆し、マウスガードとシールドの剛性を強化しました。

システム

安全性への配慮



マウスガードオープン

メガネをかけたままでも着脱できるマウスガード開閉機構

ジェット

夏はジェットに変身
●ジェット用シールドキット(オプション)

2way System

夏はジェットに変身

シールドを交換するだけでジェットに変身。夏場のロングツーリングも快適です。



System ▶ Jet システム→ジェット



アクセサリーズ
ACCESSORIES

高い防風性能で寒い季節にはより効果を発揮します。実用性だけでなく、マジスティのスタイリングにマッチしたデザインに仕上げました。

機能だけでなく美しさにもこだわったフォーム。

New マジスティ
ロングワイドスクリーン



マジスティ ロングワイドスクリーン

メーカー希望小売価格 ¥29,400(本体価格 ¥28,000)

- Q5K-YSK-054-R01 (D3)(取付0.1h)
- ・ハードコートポリカーボネイト4mm厚。
- ・クリア 縦650mm 横480mm

※写真の商品は試作品の為、実際の製品とは形状、仕上げが異なる場合があります。

このヘルメットを語る上では、20年という歴史を紐解いていかなければならないでしょう。今から20年前に開発された「SA」という名のシステムヘルメット。これが、現在の「ZENITH SAZ」の原型なのです。その当時、フルフェイスが主流だった市場に、ヤマハが先駆けとなって「ジェット」というカテゴリーのヘルメットを築き、その後各社による「ジェットヘルメット」の進化が始まったのです。しかしヤマハがこだわったのは「ジェット」ではなく「ジェットをベースにしたシステム」という考え方。これは、マルチであることにこだわったヤマハだからこそ、成し遂げられた事と言って良いでしょう。例えば、ヘルメットを装着したまま、会話や飲食が出来たり、眼鏡をかけたままでも着脱できるというマルチ志向な考え方です。

この「SA」が幾度の進化を遂げ、現在は日本で圧倒的なシェアを誇る「ZENITH SAZ」となっています。こだわりは多く、例えば安全性の面ではシールドの2重ロック採用、マウスガード、シールドは剛性を重視した構造。さらには安全試験を徹底して行い、マウスガードでは5千回、シールドでは2万回以上の上げ下げの試験を行っています。これをクリアしているものだからこそ、何年使っても不備がないのです。これらは、安全基準を常に高い位置づけとしているヤマハのコンセプトなのです。

快適性では、通風性の良さがなんといっても抜群ですね。これは購入して実際に走行してみないと実感してもらえないのが残念ですが、20キロのスクロースピードで走行しても通風性の良さを感じてもらえるはず。また、日本人の頭に合わせたカタチの設計なので、長時間の装着でもそれほど負担にならないのも特徴です。

この20年の進化は、常に変化し続ける時代のユーザーニーズに合わせたヘルメットを、提供し続けたいという我々開発者の思いがカタチになったものです。今後も、ユーザーニーズを的確に捉え、新たな進化を遂げていく「システム」&「ジェット」のヤマハヘルメットに期待をしたいと思います。

20年の進化の歴史がある。
進化し続けてきた「システムヘルメット」。



ヤマハ発動機株式会社
部品事業部 事業開発グループ
ヘルメット担当

渡辺 義則



Rider's Autumn Meeting in SHIZUOKA
大倉正之助 おかげ参りツーリング
10/21(日)

ヤマハグループ各社の協力のもと開催されたライダーの集い、おかげ参りツーリング。日本のオートバイ産業発展の地で今日の二輪業界を促した氏神たちに感謝(おかげさま)の意を捧げるとともにライダー全員で交通安全を祈願する。夏の箱根神社「819(バイク)の日」に続く秋の陣、大倉正之助氏(能楽囃子大倉流大鼓 重要無形文化財総合認定保持者)がプロデュース。秋晴れの空の下、この日のために「武運長久」の幟が掲げられた、遠州國一宮小國神社に二輪ライダー達が続々と参拝した。当日は日頃の感謝と交通安全を祈願して参拝し、その後神社境内の舞殿にて大倉正之助氏と本年より大倉正之助氏に直接指導を受けた、「八咫鳥鼓動隊」総勢10名による奉納演奏が行われた。

おおくら しょうのすけ
大倉 正之助
能楽囃子大倉流大鼓 重要無形文化財総合認定保持者。大倉流15世宗家故大倉長十郎の長男。(大倉家は室町時代より600年以上続く能楽囃子「大鼓・小鼓」の家)大鼓方として伝統的な能舞台での活躍はもちろんだが、文化プロデューサーとして多彩な公演を手掛け、ローマ法王より招聘されバチカン宮殿内でも独奏を披露するなど、世界各国の式典に出演多数。又、無類のバイク好きで、モーターサイクルクラブ二輪陸・八咫鳥の約60名ものメンバーの会長でもある。ユニバーサルミュージックよりCD「飛天」などがある。
<http://www.hitent-jp.com>

全国よりバイカーが集い、大倉氏のもと交通安全を祈願した

せられ、終演には戦前の武士のように心の静寂に浸った。最後にバイクと共にお祈りをして頂き、現代の武士である二輪ライダー達は秋空に響くエンジン音と共に帰っていった。
ヤマハ発動機、ワイズギア、ヤマハテクニカルセンターが安全啓蒙活動の一環として協賛している。グループの今後の活動にも是非注目していきたい。

個性を求めるライダーにこそ似合う!



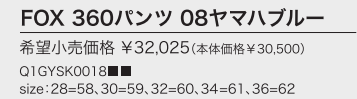
最新のハイテク素材を用いた高性能ウエア・パンツからFOX YAMAHAファンの心をくすぐるアイテムまでさまざまなテイストの商品がラインナップ。FOX YAMAHA 2008年注目のウエア&アイテムを見逃すな!!



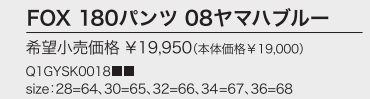
FOX SFXジャージ 08ヤマハブルー
希望小売価格 ¥8,925(本体価格 ¥8,500)
Q1GYSK0018 ■■■
size:S=83, M=84, L=85, XL=86



FOX HCジャージ 08ヤマハブルー
希望小売価格 ¥6,510(本体価格 ¥6,200)
Q1GYSK0018 ■■■
size:M=89, L=90, XL=91



FOX 360パンツ 08ヤマハブルー
希望小売価格 ¥32,025(本体価格 ¥30,500)
Q1GYSK0018 ■■■
size:28=58, 30=59, 32=60, 34=61, 36=62



FOX 180パンツ 08ヤマハブルー
希望小売価格 ¥19,950(本体価格 ¥19,000)
Q1GYSK0018 ■■■
size:28=64, 30=65, 32=66, 34=67, 36=68



FOX ギャバック
希望小売価格 ¥26,250(本体価格 ¥25,000)
Q1GYSK001901



FOX ダートパッド 08ヤマハブルー
希望小売価格 ¥4,725(本体価格 ¥4,500)
Q1GYSK0018 ■■■
size:S=75, M=76, L=77, XL=78, XXL=79



FOX フーディー 08ヤマハブルー
希望小売価格 ¥10,290(本体価格 ¥9,800)
Q1GYSK001 ■■■
size:S=897, M=898, L=899, XL=900



FOX フレックスフィットハット
希望小売価格 ¥4,200(本体価格 ¥4,000)
Q1GYSK001 ■■■
size & color:S/M-ネイビー=776, L/XL-ネイビー=773
S/M-ホワイト=775, L/XL-ホワイト=774

安全に関するご注意
商品を正しくお使いいただく為、ご使用前に必ず取扱の注意事項をご確認ください。ご不明な点は販売店にお問合せ下さい。

ワイズギア | 検索 | ※商品について詳しくはワイズギアホームページ [http://www.ysgear.co.jp]にてご確認ください。

Information

WR250R試乗会

【参加費無料】※お申込は当日先着順です。

WR250Rの試乗・プロライダーによるデモ走行
展示など、全国4会場で開催



日程

- 11月18日(日) スポーツランドSUGO特設コース
- 12月 2日(日) 名阪スポーツランド特設ダートコース
- 12月 9日(日) 真奔スポーツランド特設コース
- 12月16日(日) ウエストポイントエンデューロコース内特設コース

スケジュール(各会場共通)

9:30	受付
10:00~12:00	試乗会(午前の部)
12:00~13:00	成田選手、鈴木選手のデモンストレーション走行。 元ヤマハファクトリーライダー・吉原正氏によるWRメンテナンス講座
13:00~15:00	試乗会(午後の部)

展示車両 ■2007年全日本選手権成田選手使用マシン(YZ450FM)
■鈴木健二選手のエンデューロ参戦マシン
■A・カイロリー選手の2007年チャンピオンマシン(YZ250F)

参加資格 ■型二輪免許以上保持者。
持ち物 ■ヘルメット、グローブ、モーターサイクル用ブーツ。
※レンタル用具もご用意していますが、サイズ、数に制限があります。

詳しくは <http://www.yamaha-motor.jp/mc/event/wr250r/index.html> まで

Moto GP 日本グランプリ in 茂木

9/21(金)~23(日)



興奮、熱狂のMotoGP!
ワイズギアブースも大盛り上がり!

3日間で9万人以上が来場し、盛り上がりを見せたMotoGP日本グランプリ。最速を競う各国のライダーによる一大イベントだけに海外からのサポーターも多く、さすが国際レースだと感じられる会場内。ワイズギアブースでは、MotoGPにふさわしくモトGP外装セットのYZFR1とR6を展示、自由に触ってまたがって多くのサポーターを楽しませた。マジエスティヤヘルメットなどもタッチ&トライとして展示、暑さと寒さの両極端な天候にも関わらずワイズギアブースは熱気に溢れていた。その他、ドレスアップされたWR250Rが一般公開として初のお目見え。興味を持って熱心にスタッフの話に聞き入るファンも多く、注目を集めていた。ポンチョや傘で雨をしのぎながらの決勝の観戦にもかかわらず、ヤマハサポーターが集う観客席からは熱気溢れる声援で盛り上がり続いていた。

●商品に関するお問い合わせ 株式会社ワイズギア
0570-050814
営業時間 月曜~金曜(祝日、弊社指定の休日を除く) 9:00~12:00 13:00~17:30
○一般の固定電話の場合、全通一律市内通話料にてご利用いただけます。IP電話や携帯電話の設定によってはご利用いただけません。

ヘルメットのごおひもはしっかり絞めましょう。乗車時はグローブを装着しましょう。快速で安全なバイクライフのために。

やめよう、バイクの不正改造。見しくなるから、バイクは壊れる。

●メーカー直営小売店には消費税が免除されています。●贈答品には加工、送料等は含まれていません。●商品の仕様及び価格は予告なく変更される場合があります。●商品のカラーは印刷のため実物と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。●商品は予告なく販売を終了させていただく場合があります。●カスタムパーツ装着の場合、オートバイ本体のフレーム及びメーカースペースを損傷する場合があります。●ヤマハ発動機システムの中でISO14001を認証取得しました。〒432-8058 静岡県浜松市南区新橋町1103番地 FAX.053-443-2187 インターネットホームページ <http://www.ysgear.co.jp/>